

があれば、県と協議し農用地利用計画に反映させていきたい。

◎ コンビニ交付システム保守点検委託料547万円、コンビニ交付証明書交付金センター負担金221万円は毎年度同額か。交付件数、状況は。

Ⓐ システム保守点検委託料は5年間同額。証明書交付センター負担金は参加自治体数で変わる可能性がある。3種類の証明書の取扱いで、2月は住民票が26通、印鑑証明が23通、所得課税証明が1通であった。年齢等のデータは収集できない。



▶ コンビニ交付システムの発行機

◎ ドクターヘリ格納庫の建設場所と建設費は。

Ⓐ 建設場所は聖隷三方原病院の近くで、総費用は5億344万円。うち5445万8000円を西部地域の14市町で負担する。

◎ ロタウイルスワクチンの予防接種の効果と実施年齢、接種回数は。また、なぜ委託料に違いがあるのか。

Ⓐ ロタウイルスは乳幼児期の重い急性胃腸炎の原因となるウイルスで、ワクチンを接種することで感染予防の効果が期待できる。生後2ヶ月から初回接種が可能となる。ロタリックスが2回、ロタテックが3回と接種回数が異なり、ワクチン単価も異なるため委託料に差が生じている。

◎ 耐震補強が実施されていない学校はどこか。全校の完了予定は。

Ⓐ 静岡県においての耐震補強工事は耐震力指数1s値が1.0以下の建物について行われる。令和2年度実施予定の加茂小学校を含め5校となる。

令和3年度に小笠南小学校舎、4年度に小笠東小学校舎、令和5年度には六郷小昇降口と渡り廊下を大規模改造工事と併せて計画している。令和6年度に菊川東中技術棟の改修工事を実施することにより、耐震力の不足する建物はなくなる。

◎ 小中学校の校務支援システムの内容及び効果は。

Ⓐ 校務支援システムの導入には3つの事業がある。1つ目は指導要録、出席簿、通信簿、テスト処理など教員の事務処理においてデータを共有

し、効率的に作成するシステム。機能的には県内他市が既に導入しているレベル及び必要不可欠な機能を想定している。2つ目はグループウェアで教員同士が情報交換する共有システムは既に市内全校に導入されているが、その更新業務となる。3つ目はデータセンター構築費用で、小中学校は全て学校独自のサーバーでネットワークを組み運用している。校務支援ソフト導入のタイミングで一括してクラウド化を行う。データの一括保管でセキュリティ強化、今後のサーバーの更新費用の削減が見込まれる。導入の効果としては、教員の事務作業の負担軽減とデータの共有で転記等のミスが防止される。

